

|       |
|-------|
| 科 目 名 |
|-------|

|                                  |
|----------------------------------|
| <b>中国語Ⅱ</b><br><b>Chinese II</b> |
|----------------------------------|

2年 後期 2単位 選択

単 援 朝

### 概 要

中国語Ⅱは、中国語Ⅰと同じく初級コースでありながらそれよりさらに一方上の段階を学ぶ初・中級コースである。コミュニケーションのための中国語学習となるよう、厳選された文法事項を勉強すると同時に、会話練習に力点を置き平易な会話を反復練習し、生活習慣を反映する語彙・表現の学習を通じて、中国の文化、社会的諸相をある程度理解することを図る。

### 学習目標

- (1) 簡単な会話ができ、複文を含む短い文章が読めるようにする。  
目安として中国語検定試験 4 級程度の学力を養う。

### 授業計画

| テ ー マ      | 内 容                    |
|------------|------------------------|
| ① 予・復習     | 中国語Ⅰで学んだ内容の確認          |
| ② ペンパル訪問   | 趣味・完了の表現               |
| ③ 北京の四季    | 形容詞述語文(2)              |
| ④ 北京の四季    | 主述構造述語文                |
| ⑤ 拳法と気功術   | 可能の表現、補語(2)(3)、助動詞のまとめ |
| ⑥ 依頼       | 進行の表現(2)、兼語式、助数詞のまとめ   |
| ⑦ 中華料理     | 趣味・愛好の表現               |
| ⑧ 文法のまとめ   | テンスとアスペクト              |
| ⑨ 復習・中間テスト | 第十課～第十五課               |
| ⑩ 中国の食文化   | 推定の表現、副詞のまとめ           |
| ⑪ 李さん王さん   | 仮定・比較の表現、対人呼称          |
| ⑫ 友人との文通   | 補語(4)(5)、前置詞のまとめ       |
| ⑬ 友人との文通   | 程度の表現、連動式・兼語式のまとめ      |
| ⑭ 復習       | 第十五課～第十八課              |

### 授業方法

発音練習、会話練習と文法解説を交互に行う。毎回、授業の最後に練習問題を課す。

### 学習到達度の評価

- 1) 授業中に発音、会話させたり質問したりして理解度を把握する。
- 2) 毎回、その日に学んだ内容を中心とする練習問題をやらせ、次回の授業の冒頭で正解を発表し、問題点の指摘、解説を行う。
- 3) 中間テストと定期試験の講評を行う。

### 評価方法

平常点 (25点)、小テスト (10点)、定期試験 (65点) の成績を合わせて総合的に判定する。

### 教 材

教科書：王忠義・単継清 著「中国への招待」 熊本出版文化会館  
辞 書：姜晩成・王郁良 編「精選日中・中日辞典」 東方書店

### 履修上の注意

語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを得て、双方向的学習になるように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。単語を覚えることも重要である。

| 「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ                  | 必修／選択の別 | 学習保証時間 |
|--|---------|--------|
| 本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主としてA4に関連する。 | 選択      | 22.5時間 |